

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	フッ素塗布事業	シート番号	014-013
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 15 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	母子保健法、健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律			
	4	関連計画	堺市歯科口腔保健推進計画			
5	事業実施の経緯	口腔の健康が全身の健康につながることについて、乳幼児健診等で保健指導を実施してきた。そのことにより、乳幼児のむし歯は減少傾向にあるものの、3歳児において2割の児がむし歯を有している。また、むし歯の罹患率は堺市内においても地域により差があり、むし歯予防効果のあるフッ化物の応用(フッ素塗布)を行う。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	1歳6か月児から4歳未満の児				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	乳幼児期のむし歯の罹患率の減少と将来的な口腔管理への意識づけを行い、全身の健康増進へとつなげる。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	1歳6か月児健康診査および子どもの歯相談室で、希望者に(対象年齢内1回のみ)対して、歯科衛生士がフッ素塗布を行う。また、むし歯のハイリスクフォローとして1歳6か月児健康診査時に実施するむし歯菌の活動性検査の結果、むし歯菌の活動性が高いと判断された児については、2歳児の歯科相談時にフッ素塗布を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	995	965	991	949	973	949	918	
	主な事業費内訳	需用費(薬剤等)	千円	995	965	991	949	973	949	918
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他( )		千円								
	一般財源	千円	995	965	991	949	973	949	918	
12	人件費(b)	千円	820	820	820	820	810	810	410	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,815	1,785	1,811	1,769	1,783	1,759	1,328	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	フッ素塗布事業	シート番号	014-013
-------	---------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	1歳6か月児健康診査で希望者にフッ素塗布を行いその後定期的にかかりつけ歯科医での塗布を勧奨しており、フッ素の継続塗布に繋がっていると考える。 1歳6か月児健康診査でう蝕のハイリスク者には、かかりつけ医師会への勧奨と併せて2歳児の歯科検診での再塗布などを行ったことでう蝕のない児の割合が増加していると考ええる。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		フッ素塗布経験者の割合	%	目標値	95	95	95	95
				実績値	92	93	94	94
				達成率	97%	98%	98%	98%
				評価	普通	普通	普通	普通
		算出方法・設定根拠など 堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画(3歳児)						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		3歳児でう蝕のない児の割合	%	目標値	90	90	90	90
				実績値	83	84	86	86
	達成率			92%	93%	96%	96%	
	評価			普通	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など 堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画(3歳児)							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	フッ素塗布者数	人	8,222	7,850	7,354
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,785	1,769	1,759
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	217	225	239
	備考(算出についての説明等) 1歳6か月児健康診査、2歳児歯科フォロー健診、子どもの歯相談室でのフッ素塗布者数					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		う蝕予防につながるフッ素塗布の経験者数も年々増加しており目標値達成にあと少しだが、さらなる対策が必要と考える。 3歳児のう蝕のない児の割合も増加しているが90%以上をめざすにはさらなる工夫が必要と考える。 事業の活動実績や成果の指標「フッ素塗布経験者の割合」「3歳児でう蝕のない児の割合」は堺市歯科口腔保健推進計画の目標値に掲げている。3歳児のう蝕のない児の割合は国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」に関する目標値(90%)の設定もあり、希望者へのフッ素塗布を行うことで今後もさらなるう蝕の軽減を図る。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	フッ素塗布事業	シート番号	014-013
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> フッ素塗布を実施しないことでう蝕の増加、全身の健康にも影響が考えられる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 適切な時期に塗布することで効果が表れる。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 乳幼児健診や2歳児の歯科検診の対象者は例年ほぼ同数で、フッ素塗布の希望者も96%(1歳6か月児健診、2歳児健診)となっている。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 3密を避けるなど市民に対して遵守事項を示すことや、呼び出しを複数回にわたることなどで、感染予防対策に留意している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> 他政令市等での事業実施状況等を調査し、本市の実施状況と比較し、概ね同等のサービスである。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		<b>所見</b> フッ素塗布事業は乳幼児期のう蝕予防対策として適切な時期に歯科検診、保健指導、フッ素塗布を行うことでう蝕罹患の軽減を図り、全身の健康へとつなげている。保健指導の際に「かかりつけ歯科医」でのフッ素塗布の継続実施も啓発していることから、かかりつけ歯科医での定期健診につなげ、さらに感染予防対策を講じ、乳幼児期から学童期の永久歯の交換もスムーズに移行できるように保健指導を行う。			